

2009 年

5 月 27 日（水曜日） - 市民の心の共感を育むキーステーション 「FM たんご開局」

-

本日、「FM たんご」の開局式典が開催されました。平成 16 年の台風災害を教訓に“安全・安心”の情報を必要なときに広く市民にお伝えしたいという大切な思いをきっかけとされて、地元有志の皆さんが平成 16 年 12 月に「FM 丹後開局推進協議会」を設立され、平成 20 年 8 月に「NPO 法人京丹後コミュニティ放送」と充実され、併せて京都府の多大なご支援を受けられながら、ご尽力を重ねられて本日のご開局を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げますとともに、福永理事長様はじめ関係者の皆様に本市としても深く感謝を申し上げます。

本市は合併して 5 年を重ねましたが、合併のまちづくりの今後の発展を展望するとき、多様な特色を有する旧 6 町の各地域が交流・連携を様々なレベルで一層深め、さらに連携の力を強くし新たな価値を生み出していくことが、本市の活性化のうえでは欠かせません。他方で、本市は広域である一方で都市部と比べ交通手段が熟しておらず、このため、一層の交流や連携のためには、情報化の推進、情報化をいろんな形で進め、まちの様々な活動の情報を広く市民、市内外に発信し、広く市民の皆さんが情報や展望を共有し、ひいては市民の心の共感を育んでいくとともに、市域全体の一体化を促進し、域内外の交流と発展につなげていくことが何より重要であります。

このため、本市として、防災行政無線の市域全域整備をはじめ域内外のビジネス情報等を交流するための地域 ICT を一昨年に立ち上げたほか、光ファイバー情報通信網を市域全域で整備推進するとともに、本年 12 月のケーブルテレビ局の開局に向け、現在、鋭意準備を進めております。併せて、昨年から、ふるさと携帯のモデル事業を丹後二市二町の地域で全国先進モデルとして着手したとともに、本年 7 月には「全国地域情報化推進フォーラム」を本市で開催する方向であるなど、体系的な情報化を様々な面で精力的に推進しています。

市民待望の FM たんごのご開局は、そんな情報化のまちづくりをリードしていただく更なる一步を力強く踏み出していただいたもので、とても意義深く感じております。本市として番組枠の購入・参加などこの素晴らしい手段を活用して行政情報を積極的に発信していきたいと思っておりますし、今後、本市の大切な情報発信基地として、ひいてはまちづくりのキーステーションとして、生き活きと末永く発展していかれまますよう、心から期待をしています。